患者サポートエリア

# サポエリだより

ご自由にお持ちください

第4号
2026年10月

## 入院に当たりお口の準備は出来ていますか？

### ～手術を始め様々な治療にお口の中は大切なつながりがあります～



入院前に「口の中をチェックします」と言われて、
「歯はいたくないのになぜ？」と思ったことは
ありませんか？
お口の中を整えることも、
手術をはじめ様々な治療の準備に
欠かせない一つとなります。
むし歯や歯周病などがあると、
手術や全身麻酔、
お薬の治療の際に思わぬ
トラブルや感染症に
つながることがあります。







## お口のチェックではどのようなことをするの？

**1　お口の状態をチェックします**

むし歯や歯周病、歯のぐらつき、お口の清掃状態、入れ歯の有無などを確認します。

**2　必要に応じた歯科治療の提案**

感染の原因となる歯や、手術や治療の際に問題となる可能性のある歯があれば、院内の歯科口腔外科へ案内します。

**3　歯科口腔外科での専門的な口腔ケア**

ぐらつきのある歯があればマウスピース作成や歯科衛生士が歯垢や歯石などの汚れを除去し、お口の中を清潔な状態に整えます。



## 入院してからはどのようなことをするの？

おかかりの診療科と歯科が連携し、治療をサポートします。
お口の健康管理は、単に歯を守るだけではありません。
手術前からお口の環境を整えることで、術後の肺炎や感染症などのリスク低減を目指し、患者さんの安全な治療と回復を支えます。
お口を整えることも、手術に向けた大切な準備です。

## 病院での歯科の役割をご存じですか？

# 大学病院における歯科の役割

大学病院における歯科の役割について、これまで皆様から寄せられた質問へお答えすることで、ご紹介にもなるかと思います。大学病院での歯科の役割にご理解をいただければ幸いです。

## Q1 大学病院の歯科って、普通の歯医者さんと何が違うの？

**A** 大学病院の歯科・口腔外科では、一般の歯科医院では対応が難しい、難しい親知らずの抜歯をはじめ、お口やあごにできる腫瘍や炎症、けが、あごの変形など、専門的な診断や治療、手術が必要な病気を幅広く診療しています。

このため、むし歯の治療など一般的な歯科治療は行わず、歯科医師会や医療機関と役割を分担し、より高度な検査や専門的な治療を行うことが、大学病院の歯科・口腔外科の大切な役割です。

## Q2 持病があると、歯科治療を受けるのは難しいのでしょうか？

**A** おかかりの診療科と連携し、全身の状態に配慮しながらお口の外科治療を専門に行っています。

心臓病や糖尿病などの持病がある方、がんなどの治療を受けている方、血液をさらさらにする薬をはじめ、さまざまなお薬を服用している方では、歯科治療にも特別な注意が必要になることがあります。

大学病院では、必要に応じて患者さんが受診しているおかかりの診療科と情報を共有し、全身の状態や治療内容を確認しながら歯科治療を進めます。

また、全身の病気や障害などのため、一般の歯科医院では治療が難しい患者さんについても、医師や看護師など多くの医療スタッフと連携しながら、安全に治療を受けていただけるよう取り組んでいます。



## 患者サポートエリアでは様々な職種が連携して患者さんの対応にあたっています。




**看護師**
- 入院前の面談
- 治療や入院生活に関わる相談

**薬剤師**
- 服用されているお薬の確認
- お薬の休薬確認

**栄養士**
- 栄養状態の確認
- 退院後の食事についての相談など

**歯科衛生士**
- 入院前に歯科処置が必要でないかなどの口腔チェック

**医療ソーシャルワーカー**
- 退院後の生活や環境などに関する相談

**事務スタッフ**
- 入院前の手続き
- 療養生活に関わる様々な相談
- かかりつけ医の相談など

患者サポートエリアは病院本館1階にあります。ぜひご活用ください。

発行：大阪医科薬科大学病院 広域医療連携センター